盛岡タイムス

5月30日
2010年（平成22年）
（日曜日）

（昭和44年12月1日第三種郵便物認可）　第14087号

発行所
盛岡タイムス社
〒020-0015 盛岡市本町通3丁目9番33号
電　話(019)653-3111(代)
FAX(019)622-5119
(019)623-8204

日刊　購読料月極2,200円

ホームページ http://morioka-times.com　Eメール hensyuu@morioka-times.com

高圧受電で電気料削減

エナジーサービス　事業者向けに事業展開

盛岡市の協同組合エナジーサービス（長洞勝理事長）は高圧受電による電気料削減のビジネスを始めた。利用者に受電システムを貸し出して電力会社から割安な高圧電力を受電。低圧に切り替えて供給し差額で電気料金を削減する仕組み。これによって5～15％安くなる可能性があるという。

エナジーサービスは盛岡市を中心に電気設備業者らが昨年12月に設立した。長洞理事長は「一般の小さいコンビニ規模以下のお客さんが対象。東北電力から通常は電気を買っているが、一般家庭を含めて単価が1キロワットアワーあたり20円から24円くらいまでのところを、高圧に切り替えると12、3円になる」と話す。

電力会社の送電線から6600ボルトの高圧電力を購入して組合の高圧受電設備に引き込み、利用者に対して100ボルトから200ボルトの低圧に切り替えて供給する。高圧受電設備は200万円台の費用がかかるため、組合がレンタルする。電力料金は電力会社が組合から請求になる。

エナジーサービスを設立した長洞理事長

長洞理事長は「送電線に6600ボルト来ているものを設備で変換して届ける。だいたい3割前後の料金削減になる。1カ月平均30万円弱の電気料金を使って年間300万前後の電気料金を払っていれば、およそ80万から90万円の削減になる」と話す。

高圧で割安になった分から組合の設備投資や保守経費を差し引いた分が利用者の電力料金となる。

今月までに盛岡市や奥州市など6、7店舗が加入する予定。

問い合わせは盛岡市緑が丘5の9、エナジーサービス（電話681-2108）まで。

県商工会連合会が通常総会

県商工会連合会（千葉庄悦会長）通常総会が27日、盛岡市盛岡駅前通のホテルメトロポリタン盛岡で開かれた。09年度事業などの議案を承認。矢巾町商工会、滝沢村商工会、雫石商工会などを09年度優良商工会として表彰した。約60人が出席した。

総会で千葉会長は「09年度は経済も会運営もつらく厳しい1年だった。今年は商工会に関する法律が施行され50年となる。当商工会では将来の組織のあり方を見直し、1月に改革のための行動指針を策定した」と行動指針に触れた。

「今年度は指針に基づき本格的に実施したい。地域に必要とされる商工会を目指したい。創業支援、会員企

残像 ⑦

伊田昭博

手前の建物は明治11年、盛岡士族による銀行第1号の「第九十国銀行」で、現在の「もおか啄木賢治青春館」である。100年以